

新任のご挨拶

(株)ニューガラスフォーラム 会長
日本板硝子株式会社 代表取締役社長

松村 實

平成10年6月4日に開催された総会で皆様方のご推挙を受け(株)ニューガラスフォーラムの会長をお引き受けすることとなりました。まことに光栄でありますとともに瀬谷前会長はじめ諸先輩方が築かれた当フォーラムを運営していくことの重責を痛感する次第です。任期2年間は皆様のご協力を得ながらフォーラムの充実発展のため精一杯努力していく所存です。

さて、ニューガラスフォーラムが創立してから今年で13年目になりました。創立当時と現在では取り巻く社会・経済環境は大きく変化しております。インターネットに代表されます高度情報化社会は予想以上のスピードで進行していますし、規制緩和、ISO、グローバルスタンダード、メガコンペティション（大競争）等のキーワードで示されますように、市場経済変化と国際化が急速に進んでおります。加えて、地球環境問題もその深刻さの度合いを一層強めてきております。このような背景の下で、我が国の産業は21世紀への生き残りをかけて懸命な努力を行っておりますが、昨今、日本の国際的評価が下がりつつあることは誠に残念なことであります。「もの作り」の基本、それに必要な研究開発、技術開発の大切さを再認識し、これを忘れることなく努めれば必ずや未来が開けるものと信じております。

このような時代背景のなかでニューガラスフォーラムの果たすべき役割をもう一度考え、以下のように活動することで会員各位のお役に立てればと考えています。

1つ目は会員各位に対するサービスの向上です。各種研究会活動や研修活動の工夫、国際ガラスデータベースの整備などを通して、ニューガラスを分かり易く社会にお伝えすることを旨とし、ニューガラスフォーラムの行事に多数ご参加していただけるように努めたいと存じます。

2つ目はニューガラスの発展を一層促進していきたいとの思いです。今年度はNEDO（新エネルギー産業技術総合開発機構）からの受託事業であります高温融体物性研究の取

り組みをスタートし、ガラス熔融の未知なる領域解明を進めていきます。その他にも通信・情報・環境・快適生活に役立つ高機能ガラスの研究にも取り組んでいきたいと考えております。

やらなければならないことはたくさんありますが、力が分散しないようにしかもスピードを上げて事業に取り組む、新しい時代を切り開いて行きたいと存じます。

会員各位を始め、諸先輩、大学・研究機関の諸先生、通商産業省の関係各位のご指導とご協力を仰ぎながら以上の責務を果たしていく所存でございますので、何卒宜しくご支援を賜りますようお願い申し上げます。